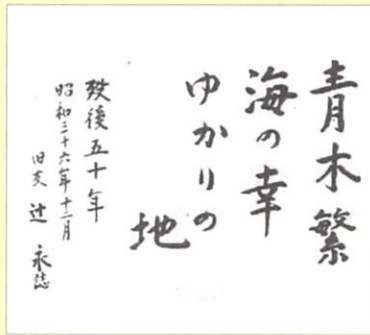


千葉県館山市の文化財「小谷家住宅」の保存にご支援をお願いします。 青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会



青木繁《海の幸》（重要文化財・石橋財団石橋美術館蔵）

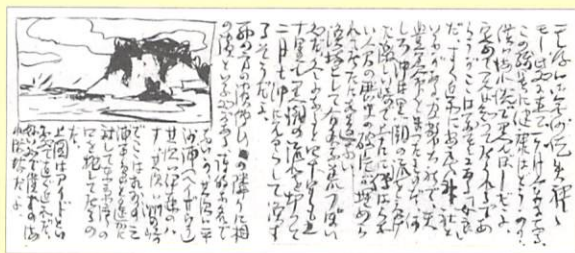


小谷家住宅（館山市指定文化財）
 漁業で栄えた布良に残る明治中期の上層漁家として貴重である。その造りは分棟型民家の系統をひいており、屋根を棧瓦葺き、一部を大壁造りとした防火造りとし、伝統的な間取りを脱して近代の間取りの傾向を示している点に特徴がある。また、明治期の洋画家青木繁が寄寓して「海の幸」（重要文化財）の制作に係わった家としても広く知られている。以上から小谷家住宅は歴史的価値が高く、かつ地方的特色において顕著であり、館山市内の歴史的建造物として重要である。
 （調査抄より抜粋）

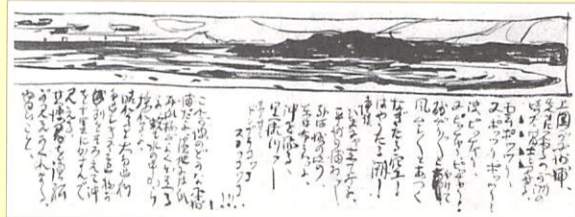
《海の幸》記念碑（碑文）
 明治洋画壇の天才画家といわれる青木繁は30年にみない生涯であったが、天びんにくわえ情熱を傾注した幾多の佳品を残し、明治浪漫主義の一大金字塔として景仰されております。
 画伯は生涯で最も幸福であり、良き年であったといわれる明治37年夏、この地に滞留し代表作となった『海の幸』を始め数点を描き上げました。この碑は画伯を敬慕し、その芸術を愛する者たちがあい寄り、没後50年を記念して、ゆかりのこの地に建立したものである。
 昭和37年4月 発起人



福田たねと 青木繁



福田たね画
『五十余年前の追想』
（栃木県芳賀町総合情報館蔵）



青木繁が布良小谷家から出状した書簡（梅野絵画記念館蔵）

現地の詳しい情報は
こちらから。

保存会の公式サイト
<http://aoki-shigeru.awa.jp/>

Blog布良・相浜の漁村日記
<http://ameblo.jp/mera-aihana/>